

- 問1 関東地方の地形的な特徴を説明した次の文のうち、空欄にあてはまる山脈の名称を答えなさい。「関東平野の北西側の境界付近には（ ）が位置しており、この山脈が冬の湿った季節風を遮る壁のような役割を果たすことで、関東地方の冬の気候に大きな影響を与えている。」
(2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 越後山脈 | 2. 赤石山脈 | 3. 奥羽山脈 | 4. 阿武隈高地 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問2 日本の国土利用において、関西国際空港のような人工島の建設に用いられる手法の特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。
(2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 1. 浅瀬を堤防で囲い、ポンプなどで内部の水を排出して水底を露出させる。 | 2. 海や湖の一部に土砂を投入し、水面よりも高い高度を持つ陸地を形成する。 | 3. 地震などによる地殻変動によって、かつて海底だった場所が海面上に現れる。 | 4. 河川が山地から平地へ出る場所に、上流から運ばれた砂礫が堆積して形成される。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
- 問3 都市部などの交通量が多い地域において、鉄道と道路の交差部分を踏切ではなく「立体交差」にする主な目的として、最も適切なものはどれか。
(2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 線路の敷設面積を最小限に抑え、土地の有効活用を図るため | 2. 交通渋滞を解消し、踏切事故を防止して安全性を高めるため | 3. 地形図上での表記を簡略化し、地図の視認性を向上させるため | 4. 列車の運行速度を落とすことで、周辺住民への騒音を軽減するため |
|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問4 日本の河川が持つ「距離が短く、傾斜が急である」という地形的特徴が、人々の生活や防災、産業に与えている影響として、最も適切な記述はどれですか。
(2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 雨が降っても水位の変化が緩やかであるため、古くから大規模な船舶による内陸輸送が発達してきた。 | 2. 傾斜の急さを利用した水力発電に適している一方で、大雨が降ると短時間で一気に増水し、洪水を引き起こしやすい。 | 3. 上流から運ばれる土砂が非常に少ないため、河口付近に三角州や平野が形成されることは稀である。 | 4. 一年を通じて水量が豊富で安定しているため、ダムを作らなくても渇水被害が起こることはほとんどない。 |
|---|--|--|---|
- 問5 山地から平地や盆地へ川が流れ出る場所で見られる、川の流れが緩やかになることで運搬された土砂が堆積して形成された扇形の地形を何といいますか。
(2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 三角州 | 2. 台地 | 3. 氾濫原 | 4. 扇状地 |
|--------|-------|--------|--------|
- 問6 近年、都市部では集中豪雨の際に下水管内の空気が圧縮され、マンホールから水が噴き出す「都市型洪水」が課題となっています。この対策として、京都市などで導入されている「雨庭（あめにわ）」の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。
(2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 下水管の中にフィルターを設置し、雨水に含まれるゴミを取り除いてから川へ流す速度を速める。 | 2. 雨水をすべて地下の巨大なタンクに密閉し、災害時の生活用水として利用するために貯蔵する。 | 3. 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。 | 4. 住宅地の景観を整えるための装飾として、雨水を好む植物を植えることで都市の気温上昇を抑える。 |
|---|--|--|--|
- 問7 「自然災害伝承碑」という地図記号が持つ役割や特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大規模な災害に備えて、食料や飲料水などの備蓄品が保管されている自治体の施設の場所を示している。 | 2. 過去に起きた津波や火山災害などの状況や教訓を記した石碑の場所を示し、防災に役立てる。 | 3. ハザードマップに基づき、将来発生する可能性が高い浸水域を予測して地図上に示したものである。 | 4. 災害が発生した際に、周辺の住民が一時的に避難するための公園や学校などの場所を示している。 |
|--|---|--|---|
- 問8 日本海側の鳥取市、瀬戸内側の高松市、太平洋側の高知市の3地点における年降水量の統計を比較すると、高松市の降水量が他の2地点に比べて顕著に少ないことがわかります。高松市でこのような統計結果が出る理由として正しいものはどれですか。
(2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 瀬戸内海は周囲を陸地に囲まれているため、外洋からの湿った空気が一切入ってこないから。 | 2. 対馬海流が日本海側を通るため、瀬戸内海側では海水の蒸発による雲の発達が起こらないから。 | 3. 季節風が中国山地や四国山地を越える際に水分を失い、乾いた空気がもたらされるから。 | 4. 高松市は平地が広く、上昇気流が発生しにくいいため、季節風が吹いても雨雲が形成されないから。 |
|---|--|---|--|
- 問9 長野県諏訪市などの内陸部で見られる「中央高地の気候」は、1年を通した降水量が少なく、冬の寒さが厳しいという特徴があります。このような気候特性が生じる理由として、地形の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。
(2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 1. 緯度が高いため、一年中シベリア高気圧の勢力下に置かれているため。 | 2. 周囲を高い山々に囲まれており、海からの湿った空気が入り込みにくいため。 | 3. 標高が低く平坦な土地が広がっているため、季節風が常に吹き抜けるため。 | 4. 日本海を流れる暖流の影響を強く受け、冬に大量の水蒸気が供給されるため。 |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
- 問10 静岡県などに見られる太平洋側の気候において、雨温図上で夏の降水量が多くなる主な要因は何ですか。
(2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|---------------------|----------------------|-------------------------|
| 1. 冬に北西から吹く湿った季節風の影響 | 2. 年間を通じて吹く強い偏西風の影響 | 3. 夏に南東から吹く湿った季節風の影響 | 4. シベリア高気圧から吹き出す冷たい風の影響 |
|----------------------|---------------------|----------------------|-------------------------|
- 問11 日本の河川の「流路が短く、傾斜が急である」という特色が、人々の生活や防災に与える影響として、背景を含めて正しく述べているものはどれですか。
(2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 河川の傾斜が急であるため、土砂が運ばれにくく、下流域に平野や三角州が形成されることはない。 | 2. 大雨が降ると短時間で洪水が発生する危険がある一方、急流を活かした水力発電に利用されてきた。 | 3. 一度に大量の水が流れることはないため、渇水対策よりも土砂崩れ対策が優先される傾向にある。 | 4. 水の流れが常に一定で緩やかであるため、大規模な堤防を築く必要がなく、水上交通が発達した。 |
|--|--|---|---|
- 問12 新潟県の上越市や福井県、京都府の舞鶴市などの統計に見られる、日本海側の気候に共通する特徴的なデータ傾向はどれですか。
(2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 夏の期間に降水量が集中し、冬の月別降水量は50mmを下回るほど乾燥した状態が続く。 | 2. 1月の平均気温が氷点下10度を下回り、年間を通じて降水量の変化がほとんど見られない。 | 3. 12月から2月にかけての月別降水量が、6月から8月の月別降水量と同等か、それ以上に多くなる。 | 4. 年間の降水量が1000mm以下と非常に少なく、1月でも平均気温が15度を超えるほど温暖である。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 越後山脈	関東平野の北西に位置し、新潟県（越後）との県境付近に連なる山脈は越後山脈です。この地理的な位置関係により、冬の季節風が遮られ、関東地方では「からっ風」と呼ばれる乾燥した風が吹くようになります。奥羽山脈は東北地方を南北に貫く山脈であり、赤石山脈は南アルプスとも呼ばれる長野・山梨・静岡にまたがる山脈です。
問2	答え 2 海や湖の一部に土砂を投入し、水面よりも高い高度を持つ陸地を形成する。	関西国際空港は、海を埋め立てて作られた「埋立地」の上に位置しています。埋立地は土砂を積み上げて物理的に地盤を高くする手法であり、干拓（水を抜く手法）や自然地形（扇状地など）とは成り立ちが異なります。都市近郊の沿岸部では、ごみ処理の最終処分場や、空港、港湾施設といった大規模なインフラを整備するために、このような人工的な土地利用が進められてきました。
問3	答え 2 交通渋滞を解消し、踏切事故を防止して安全性を高めるため	踏切は列車の通過待ちによる交通渋滞の原因となりやすく、特に都市部では「開かずの踏切」が大きな社会問題となります。道路と鉄道を立体交差化（道路が上、または鉄道が上）することで、車両や歩行者の流れを止めずにスムーズな通行が可能になり、同時に踏切内での事故リスクを無くすことができます。これにより、地域の利便性と安全性が大きく向上します。
問4	答え 2 傾斜の急さを利用した水力発電に適している一方で、大雨が降ると短時間で一気に増水し、洪水を引き起こしやすい。	日本の河川は急流であるため、水が高いところから低いところへ落ちる力を利用する水力発電には有利な条件を備えています。しかしその反面、山地に降った雨が短時間で一気に下流へと流れ下るため、梅雨や台風の時期には急激に水位が上昇し、水害が発生しやすいというリスクを抱えています。この性質は、日本の河川管理において堤防の整備やダムによる流量調節が重視される大きな理由となっています。
問5	答え 4 扇状地	山間部から平地に出る地点は、急に傾斜が緩やかになる場所です。ここで川が土砂を運ぶ力を失うことで、山地を出口とする扇のような形の堆積地形が作られます。山梨県の甲府盆地などは、この地形が発達していることで有名です。
問6	答え 3 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。	都市部では地面の多くがアスファルトで覆われているため、雨水が地中に浸透せず一気に下水道へ流れ込みます。雨庭は、植物や土壌を利用して雨水を一時的に貯め（貯留）、ゆっくりと地面に染み込ませる（浸透）機能を持っています。これにより、下水管に急激な負担がかかるのを防ぎ、マンホールの噴出や浸水被害を抑制する役割を果たしています。
問7	答え 2 過去に起きた津波や火山災害などの状況や教訓を記した石碑の場所を示し、防災に役立てる。	自然災害伝承碑は、先人が経験した大規模な自然災害の被災状況や避難の教訓を記した石碑などの場所を示す地図記号です。地図上でこれらの位置を確認することで、その土地で過去にどのような災害が起きたのかを正しく知り、土地の成り立ちや災害リスクを理解して避難行動に繋げることが期待されています。避難場所や備蓄倉庫などを示す記号とは役割が異なります。
問8	答え 3 季節風が中国山地や四国山地を越える際に水分を失い、乾いた空気がもたらされるから。	日本海側の鳥取市は冬の北西季節風の影響で降水量が多くなり、太平洋側の高知市は夏の南東季節風や台風の影響で降水量が多くなります。これに対し、その中間に位置する高松市（瀬戸内）は、二つの高い山地によって季節風が運ぶ湿気が遮られるため、どの季節も他の2地点に比べて降水量が少なくなります。この乾燥した気候を利用して、かつては塩田による塩作りが盛んに行われていました。
問9	答え 2 周囲を高い山々に囲まれており、海からの湿った空気が入り込みにくいから。	中央高地は、日本アルプスなどの高い山々に囲まれた盆地が多いため、季節風が運んでくる湿った空気が山を越える際に雨や雪として落ちてしまい、内部には乾いた空気が流れ込みます。その結果、年間降水量が少なくなります。また、内陸部は海の影響を受けにくいから、夏と冬の気温差（年較差）や、昼と夜の気温差（日較差）が大きくなるのが特徴です。
問10	答え 3 夏に南東から吹く湿った季節風の影響	太平洋側では、夏に小笠原気圧（太平洋高気圧）から南東の湿った季節風が吹き込むため、梅雨や台風の影響と重なって夏から秋にかけての降水量が多くなります。一方、冬は山を越えた乾燥した風が吹くため、晴天の日が多く降水量は少なくなります。
問11	答え 2 大雨が降ると短時間で洪水が発生する危険がある一方、急流を活かした水力発電に利用されてきた。	急傾斜で流速が速いという日本の河川の特徴は、災害面では「短時間で水位上昇による洪水リスク」をもたらします。しかし、その高低差と水の勢いを利用することで、古くから水力発電が行われるなど、自然条件をエネルギー資源として活用する背景にもなっています。
問12	答え 3 12月から2月にかけての月別降水量が、6月から8月の月別降水量と同等か、それ以上に多くなる。	日本海側の気候の最大の特徴は、冬季の降水量が多いことです。一般的に日本の多くの地域では梅雨や台風の影響で夏から秋にかけて降水量が増えますが、日本海側では冬の季節風による雪の影響で、12月や1月の降水量が夏場の降水量を上回る逆転現象や、年間を通じて降水量が多い傾向が見られます。

問1	九州地方に位置する阿蘇山や、北海道地方に位置する洞爺湖、屈斜路湖などに共通して見られる地形で、火山の噴火によって形成された大規模な窪地のことを何と呼びますか。 （2026年 愛知県公立入試 類似）			
	1. カルデラ	2. 扇状地	3. フィヨルド	4. 三角州
問2	日本の冬の気候の特徴について、次の文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「冬の日本海側では、大陸から（①）向きの季節風が吹き、日本海の上空を通過する際に（②）を蓄えることで、山地沿いを中心に大量の雪が降る。」 （2019年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. ①北西 ②湿った空気	2. ①南東 ②湿った空気	3. ①南東 ②乾燥した空気	4. ①北西 ②乾燥した空気
問3	三陸海岸の沖合は、北からの親潮（千島海流）と南からの黒潮（日本海流）がぶつかることで世界有数の漁場となっている。このように寒流と暖流が接する海域で、多くの魚が集まる豊かな漁場が形成される主な理由はどれか。 （2017年 北海道公立入試 類似）			
	1. 複雑に入り組んだリアス海岸が続 き、波が穏やかで養殖に適している ため	2. 潮目と呼ばれる海域ができ、魚の 餌となるプランクトンが多く発生す るため	3. 大陸棚と呼ばれる浅く平らな海底 が広がり、日光が海底まで届くため	4. 暖流によって運ばれた温かい海水 が滞留し、熱帯性の魚類が多く生息 するため
問4	日本の太平洋沿岸を北から南へ向かって流れる寒流で、東北地方の太平洋側に冷涼な空気をもたらし、夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹く際の原因の一つとなる海流の名称として適切なものを選びなさい。 （2014年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 日本海流（黒潮）	2. 対馬海流	3. リマン海流	4. 千島海流（親潮）
問5	地形図の縮尺と実際の距離の関係について説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 （2018年 大分県公立入試 類似）			
	1. 2万5千分の1の地形図では、図上 の1cmを500倍すると実際の距離に なる。	2. 2万5千分の1の地形図では、1km の実際の距離は図上で4cmとして表 現される。	3. 5万分の1の地形図は、2万5千分 の1の地形図よりも、一定の範囲をよ り詳しく表現できる。	4. 5万分の1の地形図において図上の 1cmが示す実際の距離は250mであ る。
問6	地形図上の特定の二点を結ぶ直線に沿って、土地の起伏や標高の変化を横から見た形で表現したグラフを何といいますか。最も適切な名称を選択してください。 （2017年 山口県公立入試 類似）			
	1. 等高線図	2. 地形断面図	3. 階級区分図	4. 鳥瞰図
問7	広島市の中心部を流れる太田川などの河口付近に見られる地形の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2022年 静岡県公立入試 類似）			
	1. かつての海底や川底が地殻変動によ って隆起し、周囲より一段高い平坦 な面が形成された。	2. 山地から平地に出る谷口付近にお いて、砂利などが扇状に堆積して緩 やかな傾斜地が形成された。	3. 風によって運ばれた砂が、海岸や 乾燥地において積み重なり、丘のよ うな地形が形成された。	4. 河川が運んできた土砂が、流速の 落ちる河口付近に堆積して平坦な土 地が形成された。
問8	冬の降水量が非常に多く、夏と冬の気候の変化がはっきりしている「日本海側の気候」の説明として正しいものはどれですか。 （2023年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 1年を通じて雨が少なく、夏と冬 の気温差が小さい。	2. 冬は晴天の日が多く乾燥しており 、夏に降水量が集中する。	3. 季節風の影響で冬に雪が多く、世 界でも有数の豪雪地帯が見られる。	4. 標高が高いため夏でも涼しく、冬 の寒さが非常に厳しい。
問9	ある地域の地形図の読解において、土地利用と集落の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、その地形図には「針葉樹林」「果樹園」「荒地」の記号が確認でき、家屋が特定の道路沿いに集中して並んでいるものとします。 （2016年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 針葉樹林や果樹園などの土地利用 が見られ、道路に沿って家屋が列状 に並ぶ集落が形成されている。	2. 広葉樹林や茶畑が斜面に広がり、 等高線の密度が高い急斜面に沿って 家屋が密集している。	3. 田や畑が広がり、灌漑用の溜池を 中心として家屋が円状に集まる集落 が形成されている。	4. 荒地や針葉樹林が見られるが、家 屋は広大な耕作地の中に一軒ずつ離 れて点在している。
問10	木曽川・長良川・揖斐川の下流域（濃尾平野）などのように、複数の河川が合流する標高の低い平地では、古くから洪水による水害が繰り返されてきました。このような地域において、人々の生活や田畑を守るために、周囲を堤防で囲んで作られた集落や地域の形態を何と呼びますか。 （2021年 大分県公立入試 類似）			
	1. 干拓	2. 輪中	3. 扇状地	4. 段々畑
問11	九州地方の阿蘇山周辺に見られる、大規模な火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没することによって形成された巨大な窪地を何と呼びますか。 （2021年 新潟県公立入試 類似）			
	1. 三角州	2. シラス台地	3. カルデラ	4. 扇状地
問12	長野県などに見られる中央高地の雨温図に見られる、他の地域と比べた際の特徴として正しいものはどれですか。 （2021年 北海道公立入試 類似）			
	1. 冬の降水量が非常に多く、気温の 変化が小さい	2. 一年を通じて降水量が一定で、常 に温暖である	3. 夏の降水量が突出して多く、冬も 気温が下がりにくい	4. 年間の降水量が少なく、夏と冬の 気温差が大きい
問13	東北地方の太平洋側に位置する三陸海岸の南部などに見られる、のこぎりの刃のように複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。山地が沈み込んだり海面が上昇したりすることで、かつての谷に海水が入り込み、狭い湾や入り江が形成されたものを指します。 （2021年 群馬県公立入試 類似）			
	1. カルスト地形	2. リアス海岸	3. 砂浜海岸	4. 干拓地
問14	地震発生時に液状化現象が起こりやすい地域の土地条件と、その仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2024年 島根県公立入試 類似）			
	1. 大規模な森林伐採が行われた場所 で、土壌の保水力が失われて地面が 流動化する。	2. 硬い岩盤で構成された台地におい て、地震のエネルギーが一点に集中 して地面が割れる。	3. 水分を多く含んだ砂質の埋め立て 地などで、振動により砂の粒子の結 合が崩れて地盤が軟弱化する。	4. 山間部の急傾斜地において、激し い揺れによって表面の土砂が一度に 崩れ落ちる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴出すると、その跡が空洞になり、山体が崩落することで大きな窪地（くぼち）が形成されます。これをカルデラと呼び、スペイン語で「鍋」を意味します。九州の阿蘇山は世界最大級の規模を誇るカルデラを持ち、その内部に多くの人々が居住している点が特徴です。また、北海道の洞爺湖や支笏湖、屈斜路湖はこの窪地に水が溜まってできたカルデラ湖です。
問2	答え 1 ①北西 ②湿った空気	日本の冬に吹く特徴的な風は、北西の季節風です。この風はもともとシベリア大陸から吹き出す冷たく乾燥した風ですが、日本海を通過する際に海面からの蒸発によって水分を補給され、湿った空気へと変わります。これが日本の高い山々にぶつかることで上昇気流が起こり、日本海側に雪を降らせる原因となります。この季節風の向きと湿度の変化を理解することが、日本の気候区分を把握する上で重要です。
問3	答え 2 潮目と呼ばれる海域ができ、魚の餌となるプランクトンが多く発生するため	寒流と暖流がぶつかる海域は「潮目」と呼ばれ、海流が混ざり合うことで栄養分が豊富になり、魚の餌となるプランクトンが大量に発生します。これにより多くの魚が集まります。大陸棚についての記述は東シナ海などの特徴であり、リアス海岸は地形による養殖の利点の説明です。
問4	答え 4 千島海流（親潮）	千島海流は、北太平洋の亜寒帯地域から千島列島に沿って南下してくる寒流です。魚類を育てるプランクトン（栄養分）を豊富に含んでいることから「親潮」とも呼ばれます。この海流は温度が低いため、その上を通る空気が冷やされ、東北地方の太平洋側に冷害をもたらす「やませ」や霧を発生させる要因となります。
問5	答え 2 2万5千分の1の地形図では、1kmの実際の距離は図上で4cmとして表現される。	2万5千分の1の地形図において、図上の1cmは実際の250mに相当します。実際の距離1km（1,000m）をこの地図上で表すと、 $1,000\text{m} \div 250\text{m} = 4\text{cm}$ となります。縮尺の数値が小さいほど、同じ範囲をより拡大して詳しく描くことができます。5万分の1の地形図の場合、1cmは実際の500mに相当するため、2万5千分の1の地形図の方がより詳細な情報を掲載するのに適しています。
問6	答え 2 地形断面図	地形図に描かれた等高線の数値を読み取り、縦軸に標高、横軸に距離をとってグラフ化することで、実際の土地の傾斜や起伏を視覚的に捉えることができます。等高線そのものを描いた地図や、上空から斜めに見下ろした鳥瞰図、統計データを色の濃淡で示した階級区分図とは、作成の目的や表現方法が異なります。
問7	答え 4 河川が運んできた土砂が、流速の落ちる河口付近に堆積して平坦な土地が形成された。	河口付近に形成される三角州は、河川の運搬作用によって運ばれた土砂が堆積することで作られます。選択肢にある「谷口付近に形成される傾斜地」は扇状地を指し、三角州よりも土砂の粒が大きく、水はけが良いという違いがあります。広島市の中心部は、複数の河川に分かれた河口の三角州上に発展した代表的な都市です。
問8	答え 3 季節風の影響で冬に雪が多く、世界でも有数の豪雪地帯が見られる。	日本海側の気候は、冬に吹く北西の季節風が水分を運んでくるため、冬に雪や雨が多いのが最大の特徴です。これに対し、太平洋側の気候では冬に乾燥した晴天が続き、瀬戸内の気候では年間を通じて降水量が少なくなります。秋田市など東北地方の日本海側も、この季節風の影響を強く受ける地域です。
問9	答え 1 針葉樹林や果樹園などの土地利用が見られ、道路に沿って家屋が列状に並ぶ集落が形成されている。	地形図に記された地図記号から、その土地が針葉樹の森林や果樹園、あるいは利用されていない荒地であることを読み取ることができます。また、家屋が道路に沿って一列に並んでいる様子は、交通の利便性などを背景に成立した路村の特徴を示しています。広葉樹林（旗のような記号）や茶畑（点3つ）は、この地域の特徴としては示されていません。
問10	答え 2 輪中	複数の大きな河川に挟まれた下流域は、標高が海面よりも低い「海拔ゼロメートル地帯」となることもあり、一度河川が増水すると甚大な浸水被害を受ける恐れがあります。そこで、自分たちの住む集落や大切な農地を水害から守る自衛手段として、周囲に堤防を張り巡らせる「輪中」という仕組みが発達しました。これは日本の防災の歴史を示す重要な地形的特徴です。
問11	答え 3 カルデラ	火山の活動によって形成される地形で、大規模な噴火により地下に空洞ができ、そこが重みで沈み込む（陥没する）ことで広大な凹地となります。ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉が語源です。阿蘇山のものは世界最大級の規模を誇り、窪地の中には平地が広がり、多くの人々が生活したり、鉄道が通ったりしています。
問12	答え 4 年間の降水量が少なく、夏と冬の気温差が大きい	中央高地は周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入り込みにくく、年間降水量が少なくなります。また、内陸に位置することから海の影響を受けにくいため、夏は暑く冬は冷え込みが激しくなり、気温の年較差が大きくなります。
問13	答え 2 リアス海岸	もともと起伏の激しい山地があった場所で、谷の部分に海水が入り込むことで形成される地形です。三陸海岸のほか、福井県の若狭湾周辺や三重県の志摩半島などにも見られます。名称はスペイン北西部のガラシア地方にある「リア（入り江）」が連なる海岸に由来しています。
問14	答え 3 水分を多く含んだ砂質の埋め立て地などで、振動により砂の粒子の結合が崩れて地盤が軟弱化する。	液状化は、特に沿岸部の埋め立て地やかつての河川敷など、水と砂が多い場所で発生しやすいのが特徴です。地震の衝撃で砂の粒子の隙間にあった水が押し出され、地面全体が液体のような挙動を示すようになります。これにより、本来は強固だったはずの地盤が支える力を失い、建物の倒壊やライフラインの寸断を引き起こします。

ト

名前

(2020年 愛媛県公立入試 類似)

1. 奥羽山脈 2. 中国山地 3. 赤石山脈 4. 越後山脈

(2022年 島根県公立入試 類似)

1. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が、日本海を北上しながら周囲の湿った空気を巻き込み、巨大な雲の渦を作るため。
2. 太平洋高気圧の発達により、南からの暖かく湿った空気が日本列島にぶつかり、上昇気流となって雲が発生するため。
3. シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を補給されて雲が発生するため。
4. 揚子江気団から移動性高気圧が東へ進んでくる際、日本海側で急激に気圧が下がり、大規模な雲が発生するため。

(2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 日本海側の気候 2. 太平洋側の気候 3. 瀬戸内の気候 4. 中央高地の気候

長崎県公立入試 類似)

1. 石狩川 2. 木曽川 3. 利根川 4. 信濃川

(2024年 埼玉県公立入試 類似)

1. 年間を通じて降水量が極めて少なく温暖な地域 - 夏に南東の季節風の影響で降水量が集中する地域
2. 夏と冬の気温差が激しく年間降水量が少ない地域 - 冬に乾燥した晴天の日が続く地域
3. 夏から秋にかけて台風や梅雨の影響で降水量が非常に多い地域 - 冬に北西の季節風の影響で雪や雨の降水量が多くなる地域
4. 冬に北西の季節風の影響で雪が多く降る地域 - 1年を通じて降水量の変化が少なく安定している地域

(2014年 沖縄県公立入試 類似)

1. 等高線図 2. 地形図 3. 路線図 4. ハザードマップ（防災マップ）

(2025年 和歌山県公立入試 類似)

1. 道路脇に高く積み上げられた除雪後の雪山に、信号機が接触するのを避けるため
2. 冬の強い季節風による横揺れを抑え、電球の寿命を延ばすため
3. 雪が積もる面積を最小限に抑え、重みによる破損や雪による灯火の遮蔽を防ぐため
4. 冬の短い日照時間において、西日がレンズに反射して見えにくくなるのを防ぐため

(2017年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。
2. プレートの沈み込みによって形成された、列島に沿って分布する細長い海溝のことである。
3. 火山活動によって噴出した溶岩が積み重なってできた、標高の高い山脈地帯のことである。
4. 関東地方から九州地方までを内帯と外帯に分ける、日本最大級の断層のことである。

(2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 盛り土によって道路面が周囲の浸水想定域よりも高い位置に保たれ、安全を確保できるため。 | 2. 高速道路は緊急車両専用の道路となるため、被災地への救援物資を最も早く届ける拠点となるため。 | 3. 道路がトンネルや地下構造を中心に設計されており、津波による波の衝撃から直接避難者を守ることができるため。 | 4. 高速道路の壁面が強固な防潮堤として機能し、津波の浸水そのものを完全にせき止めることができるため。 |
|---|--|---|---|

(2023年 兵庫県公立入試 類似)

1. ハザードマップ 2. 等高線図 3. 地形図 4. ロードマップ

(2026年 宮崎県公立入試 類似)

1. ハザードマップ 2. ドットマップ 3. ユニバーサルデザインマップ 4. 地形図

(2022年 岡山県公立入試 類似)

1. 信濃川 2. 淀川 3. 石狩川 4. 利根川

(2016年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 洪水や土砂災害などの災害種別ごとに異なる、浸水の深さや土砂の到達範囲 | 2. 主要な特産品の産地や、伝統的な祭りが行われる神社仏閣の所在地 | 3. 地価の上昇が見込まれる地域や、将来建設される予定の鉄道ルート | 4. 地域の歴史的な変遷を示す、過去の海岸線の位置や古い町並みの広がり |
|---------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 赤石山脈	中部地方の中央部には標高3,000メートル級の山々が連なる3つの山脈があり、西から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）と呼ばれています。これらを総称して日本アルプスと呼びます。奥羽山脈は東北地方の中央を南北に走る山脈であり、越後山脈は新潟県と周辺の県境に位置する山脈です。
問2	答え 3 シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を補給されて雲が発生するため。	冬の日本では、シベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風はもともと乾燥していますが、比較的暖かい日本海の上を通る際に、海面から熱と水蒸気を大量に吸収して雲を形成します。この雲が日本海側や周辺の島々に広がり、日本の山脈にぶつかることで日本海側に雪を降らせる原因となります。気象衛星画像では、この季節風の流れに沿った筋状の雲が明瞭に確認できます。
問3	答え 4 中央高地の気候	本州中央部の標高が高い地域に位置するこの気候区は、冬の寒さが厳しく、夏と冬の気温差（年較差）が大きいのが特徴です。また、周囲を高い山々に囲まれているため、季節風による湿った空気が入りにくく、年間を通して降水量が少ない傾向にあります。
問4	答え 4 信濃川	長野県内では千曲川と呼ばれ、新潟県に入ると名前を変えるこの河川は、日本で最も全長が長い河川です。河口付近には日本有数の米の産地である越後平野が広がっています。日本で最も流域面積が広い利根川（関東地方）や、3番目に長い石狩川（北海道）と混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 3 夏から秋にかけて台風や梅雨の影響で降水量が非常に多い地域 - 冬に北西の季節風の影響で雪や雨の降水量が多くなる地域	太平洋側の地域（新宮市など）は、夏に南東の季節風の影響を受けるほか、梅雨や台風の影響で6月や9月ごろに降水量が突出して多くなるのが特徴です。一方、日本海側の地域（出雲市など）は、冬に水分を蓄えた北西の季節風が山地にぶつかることで、12月から1月にかけて雪や雨による降水量が他の時期よりも多くなります。
問6	答え 4 ハザードマップ（防災マップ）	地震、津波、洪水、土砂災害などの自然災害による被害を最小限に抑える（減災）ことを目的とした地図です。あらかじめ被害予測を可視化することで、住民が迅速かつ安全に避難できるよう、自治体などが作成して配布しています。
問7	答え 3 雪が積もる面積を最小限に抑え、重みによる破損や雪による灯火の遮蔽を防ぐため	日本海側の地域では、冬に湿った北西の季節風が吹き付けるため、積雪量が非常に多くなります。一般的な横型の信号機は雪が積もる面積が広く、その重みでアームが折れたり、積もった雪がレンズを隠して視認性が低下したりする恐れがあります。信号機を縦型に設置することで雪が積もる面積を減らし、雪が下に滑り落ちやすくする工夫がなされています。
問8	答え 1 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。	フォッサマグナは単なる「線」ではなく、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積している「地質的な溝（領域）」を指します。この領域の西側の境界線が糸魚川・静岡構造線です。選択肢にある「内帯と外帯に分ける断層」は中央構造線の説明であり、これと混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 盛り土によって道路面が周囲の浸水想定域よりも高い位置に保たれ、安全を確保できるため。	東日本大震災などの教訓から、盛り土（地盤に土を積み上げて高くする構造）によって周囲の平地よりも高い位置に建設された高速道路が、津波発生時の一時的な避難場所として注目されています。想定される最大の津波による浸水深よりも、道路面の高さが上回っている場合、その高低差を利用して浸水被害から逃れる「垂直避難」が可能になります。これは単なる交通路としての機能だけでなく、地域防災における多目的なインフラ活用の一環です。
問10	答え 1 ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、被害の範囲や避難場所を地図上に示したものをハザードマップ（被害予測図）と呼びます。地理的分野では、身近な地域の防災対策として頻出の用語です。単に避難所を覚えるだけでなく、自分が住む地域の浸水リスクや避難経路を事前に確認しておくことが、防災教育において重視されています。
問11	答え 1 ハザードマップ	自然災害が発生した際に被害を最小限に抑えるため、危険な区域や避難場所を示した地図をハザードマップと呼びます。日頃から危険区域を確認し、迅速に避難できるように作成されています。
問12	答え 4 利根川	日本の河川において、長さが最も長いのは信濃川ですが、流域面積（その河川に水が集まってくる範囲の面積）が最大なのは利根川です。関東平野という日本最大の平野を流れる利根川は、多くの支流を持ち、広大な範囲の農業や工業、生活用水を支えていることから「坂東太郎」とも呼ばれています。
問13	答え 1 洪水や土砂災害などの災害種別ごとに異なる、浸水の深さや土砂の到達範囲	ハザードマップは単に避難所を指し示すだけでなく、災害の種類（洪水、津波、土砂災害など）に応じて、どの程度の被害（浸水の深さなど）が想定されるかを色分けなどで表現しています。災害の種類によって危険な場所や避難すべき場所が異なるため、これらを複合的に把握しておくことが「減災」において極めて重要です。

- 問1 縮尺2万5千分の1の地形図上で、ある歴史的建造物を囲むお堀の内側の範囲を計測したところ、縦2cm、横4cmの長方形の面積に相当することがわかりました。このとき、お堀の内側の実際の面積は何平方キロメートルになりますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 2.25平方キロメートル 2. 0.5平方キロメートル 3. 1平方キロメートル 4. 0.125平方キロメートル
- 問2 日本で見られるリアス海岸の分布やその特徴について述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 福井県の若狭湾周辺には、複雑な海岸線を利用した養殖業や天然の良港が発達している。 2. 京都府の天橋立に見られるように、砂が堆積して細かく突き出した砂州が発達している。 3. 有明海の沿岸には、潮の満ち引きによって現れる広大な干潟が形成されている。 4. 三陸海岸の北部は、一貫して複雑に入り組んだ入江が続くリアス海岸のみで構成されている。
- 問3 洪水や土砂災害などの自然災害が発生した際に、被害が及ぶと予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を住民に共有するために作成された地図の名称として、適切なものを選びなさい。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 地形図 2. ハザードマップ 3. 統計地図 4. 主題図
- 問4 世界の主要な河川と日本の河川を、河口からの距離と標高の関係で比較したとき、日本の河川の形状にはどのような特徴がありますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 大陸の河川に比べて河口までの距離が非常に短く、短い区間で一気に標高を下げるため、流れが急である。 2. 山地から海までの距離が非常に長いため、中流域から下流域にかけては標高がほとんど変化しない。 3. 標高の高い山脈が海岸線から遠く離れているため、河口付近まで傾斜がほとんどつかない。 4. ナイル川やアマゾン川のように、1000km以上の長い距離をかけて標高が緩やかに下降していく。
- 問5 中央高地に位置する都市の統計において、年間の降水量が1000mm程度と非常に少なくなる理由として、地形の観点から説明した文として正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
1. 平地が少なく地表面の温度が上がりにくい、上昇気流に伴う雨雲が発生しないため。 2. 周囲を高い山脈に囲まれており、海からの湿った空気が入り込みにくくなっているため。 3. 広大な盆地が広がっているため、海からの湿った風が届く前にすべて陸地で乾燥してしまうため。 4. 標高が高いために上昇気流が発生しにくく、雲が発達する前に風が吹き抜けてしまうため。
- 問6 ある地域の地形図において、等高線が密集している場所から、等高線の間隔が広がった緩やかな斜面へと変化する地点があります。その緩やかな斜面に、円の中に点が描かれた地図記号が多数確認できる場合、その地域の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. 標高が低く平坦な土地であり、水分を多く必要とする米を生産する水田として利用されている。 2. 土地の傾斜が緩やかであり、モモやブドウなどの果樹を栽培する土地として利用されている。 3. 標高が高い山地であり、冷涼な気候を活かしてキャベツやレタスなどの高原野菜が栽培されている。 4. 土地の傾斜が急であるため、土砂災害を防ぐ目的でスギやヒノキなどの針葉樹が植えられている。
- 問7 日本列島の周辺には複数のプレートの境界があり、環太平洋造山帯に属しています。この地形的背景が日本の自然環境や災害に与えている影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 火山活動が全く見られない一方で、プレートの摩擦がないため地震の発生回数は世界的に見て非常に少ない。 2. プレートの沈み込みによって地殻が押し上げられるため、国土の約4分の3が山地や丘陵地となっている。 3. 古い造山運動によって形成されたため、石炭などの地下資源が豊富に埋蔵され、平坦な土地が多い。 4. 地殻変動がほぼ終息した安定した地塊であるため、河川の勾配は緩やかで水害のリスクが低い。
- 問8 日本の気候に大きな影響を与える季節風（モンスーン）について、夏と冬の風向きと吹き出し元の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 夏は太平洋側から南東の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から北西の風が吹く。 2. 夏は太平洋側から北西の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から南東の風が吹く。 3. 夏はユーラシア大陸側から北西の風が吹き、冬は太平洋側から南東の風が吹く。 4. 夏はユーラシア大陸側から南東の風が吹き、冬は太平洋側から北西の風が吹く。
- 問9 冬の季節風が日本海側で雪を降させた後、日本列島の山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす際、太平洋側の気候にはどのような特徴が見られますか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. フェーン現象によって、冬でも夏のような蒸し暑い気候になる 2. 山脈で水分を失っているため、乾燥した晴天の日が多くなる 3. 日本海で蓄えた水蒸気により、太平洋側でも積雪が多くなる 4. 季節風がさえぎられるため、湿った空気がとどまり雨が多くなる
- 問10 本州の中央部を南北に縦断するように広がる「フォッサマグナ」に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. ラテン語で「大きな溝」を意味し、日本列島を地質学的な構造によって東西に分ける境界となっている。 2. 激しい火山活動によって山頂部が陥没し、その中央に水が溜まることで形成された大きなくぼ地である。 3. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈からなり、日本の屋根とも呼ばれる標高の高い山岳地帯である。 4. 九州地方の南部に分布する、過去の巨大噴火による火山灰などが厚く降り積もって形成された台地である。
- 問11 日本の地形や山地に関する次の説明について、空欄に当てはまる名称と数値の組み合わせとして適切なものを選択してください。「静岡県と山梨県の県境に位置する（名称）は、標高（数値）に達する日本で最も高い山である。」 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 富士山・3,776m 2. 北岳・3,193m 3. 奥穂高岳・3,190m 4. 槍ヶ岳・3,180m
- 問12 日本の福井県北部にある若狭湾周辺などの統計資料において、海岸線が非常に長く、岬と湾が複雑に入り組んでいる様子が示される地形を何と呼ぶか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 三角州 2. 砂州 3. 干潟 4. リアス海岸
- 問13 瀬戸内地方において、年間を通じて降水量が少なくなる理由を、地形と季節風の関係から説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 周囲に高い山地が存在しないため、湿った空気が上昇して雲を作る仕組みが働かないため。 2. 北の中国山地と南の四国山地が、夏と冬それぞれの季節風が運んでくる湿った空気を遮るため。 3. 赤道付近から北上してくる暖流の影響により、雲が発生しにくい安定した高気圧に常に覆われるため。 4. 大陸から吹き付ける乾燥した季節風の影響のみを一年中受け続け、海からの空気が入り込まないため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 0.5平方キロメートル	2万5千分の1の地形図では、地図上の1cmが実寸で250m（0.25km）となります。この長方形の実際の寸法は、縦が250m×2＝500m（0.5km）、横が250m×4＝1,000m（1km）です。これらを掛け合わせることで、0.5km×1km＝0.5平方キロメートルという面積が算出されます。また、地図上の面積が8平方センチメートルであることから、1平方センチメートルあたりの面積である0.0625平方キロメートルを8倍して計算することも可能です。
問2	答え 1 福井県の若狭湾周辺には、複雑な海岸線を利用した養殖業や天然の良港が発達している。	リアス海岸は、入江が深く波が穏やかであるという特性から、古くから漁港（避難港）や養殖場として利用されてきました。若狭湾や志摩半島、三陸海岸南部などがその代表です。一方、三陸海岸の北部は海岸段丘が発達した直線的な地形となっており、すべてがリアス海岸であるわけではありません。
問3	答え 2 ハザードマップ	自然災害による被害想定区域や避難施設を記した地図はハザードマップ（被害予測地図）と呼ばれます。これは特定の目的に応じて作成される「主題図」の一種であり、住民が事前に地域の危険性を把握し、迅速に避難できるようにすることを目的としています。等高線などを用いて土地の様子を網羅的に表した地形図とは、その目的が異なります。
問4	答え 1 大陸の河川に比べて河口までの距離が非常に短く、短い区間で一気に標高を下げるため、流れが急である。	日本の国土は中央部に険しい山地が連なり、海岸線までの平野部が狭いため、河川は「距離が短い」かつ「傾斜が急」という特徴を持ちます。このため、日本の河川は海外の河川と比較して「急流」となりやすく、かつて明治時代に日本を訪れたオランダ人技師デ・レーケが、日本の川を見て「これは川ではなく滝だ」と驚いたという逸話も残っています。
問5	答え 2 周囲を高い山脈に囲まれており、海からの湿った空気が入り込みにくくなっているため。	中央高地は、飛騨・木曽・赤石山脈といった高い山々に囲まれています。海から吹いてくる湿った風は、これらの山を越える際に斜面で雨を降らせてしまうため、山を越えて盆地側へ吹き降りる際には乾燥した空気となります。この地形的要因により、内陸の盆地部では年間を通じて降水量が少なくなります。
問6	答え 2 土地の傾斜が緩やかであり、モモやブドウなどの果樹を栽培する土地として利用されている。	地形図上で等高線の間隔が広いことは、その地点の傾斜が緩やかであることを意味します。また、円の中に点がある記号は果樹園を表しています。盆地の縁や山の麓にある緩やかな斜面は水はけが良いため、古くから果樹栽培に利用されることが多く、日本の地形図読解における代表的な土地利用のパターンです。
問7	答え 2 プレートの沈み込みによって地殻が押し上げられるため、国土の約4分の3が山地や丘陵地となっている。	環太平洋造山帯に位置する日本列島は、複数のプレートが激しくぶつかり合う場所にあります。このプレート運動による圧力で地層が押し曲げられたり、隆起したりすることで、険しい山々が形成されました。その結果、日本の国土の大部分は山地や丘陵地で占められることになり、平地が少なく、河川の勾配が急であるといった日本特有の地形的特徴を生み出しています。
問8	答え 1 夏は太平洋側から南東の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から北西の風が吹く。	日本列島は、ユーラシア大陸と太平洋の間に位置しているため、季節によって吹く方向が変わる季節風の影響を強く受ける。夏は海洋（太平洋）が大陸よりも温度が上がりやすく高気圧となるため、湿った空気を伴う南東の風が吹く。対して冬は、冷え込みが激しいユーラシア大陸側が乾燥した高気圧となるため、冷たく乾いた北西の風が日本に向かって吹き出す。
問9	答え 2 山脈で水分を失っているため、乾燥した晴天の日が多くなる	日本海で水蒸気を蓄えた季節風は、日本海側の山脈にぶつかって雪を降らせることで水分を放出します。そのため、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は非常に乾いた状態になり、冬の太平洋側では乾燥した晴天が続く原因となります。
問10	答え 1 ラテン語で「大きな溝」を意味し、日本列島を地質学的な構造によって東西に分ける境界となっている。	フォッサマグナは、古い地層が深く沈み込んだ場所に新しい地層が厚く堆積してできた地帯です。西端の境界線は糸魚川・静岡構造線と呼ばれ、この線を境に日本の地質構造が大きく変わります。選択肢にある火山灰の台地はシラス台地、3つの山脈は日本アルプスの説明です。
問11	答え 1 富士山・3,776m	日本最高峰は富士山であり、その高さは3,776mです。富士山は成層火山としての美しい円錐形の形状を持ち、2013年には世界文化遺産にも登録されました。選択肢にある北岳（南アルプス）、奥穂高岳（穂高岳）、槍ヶ岳（北アルプス）はいずれも日本を代表する高山ですが、標高は3,000m級であり、富士山が突出して高いことがわかります。
問12	答え 4 リアス海岸	起伏の多い山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることによって、谷の部分に海水が入り込んで形成される地形です。この地形は海岸線が非常に長くなるのが特徴で、福井県の若狭湾のほか、岩手県の三陸海岸南部、三重県の志摩半島などが代表例として挙げられます。
問13	答え 2 北の中国山地と南の四国山地が、夏と冬それぞれの季節風が運んでくる湿った空気を遮るため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地方は二つの山地に挟まれた地形をしています。冬の北西の季節風は中国山地で、夏の南東の季節風は四国山地でそれぞれ水分を落としてしまうため、瀬戸内側には乾燥した空気が流れ込みます。このメカニズムにより、年間を通じて降水量が抑えられています。

問1 ある地域の8月の平均気温を調査したところ、都心部を中心として27度の等温線が囲んでおり、その周囲の郊外地域は25度から26度と相対的に低くなっていました。このように、都市中心部の気温が、郊外や周辺部と比較して島のように高くなる現象を何といいますか。 (2014年

愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|--------|----------|--------|
| 1. ヒートアイランド現象 | 2. 砂漠化 | 3. 地球温暖化 | 4. 酸性雨 |
|---------------|--------|----------|--------|

問2 日本海側の気候において、夏と冬の気象条件の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 夏は南東の季節風によって連日雨が降り、冬は乾燥した冷たい風によって晴天が続く。 | 2. 夏はオホーツク海高気圧の影響で低温となり、冬は暖流の影響で全く雪が降らない。 | 3. 夏は季節風の影響で晴天の日が多く、冬は北西の季節風によって雪や雨が多くなる。 | 4. 夏はフェーン現象により猛暑となることがあるが、冬は太平洋側よりも降水量が少なくなる。 |
|--|---|---|---|

問3 地理的な条件や災害リスクを考慮した日本のまちづくりにおいて、高速道路が「避難場所」としての機能を持つ場合があります。この機能を成立させるために重要な、道路の構造的な特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 地中深くを掘り進めたアンダーパス構造により、地上の災害の影響を受けないこと。 | 2. 周囲の地盤よりも高い位置に土を積み上げた「盛り土」構造によって建設されていること。 | 3. 防音壁の代わりに巨大な堤防を設置し、街全体を津波から隔離する構造であること。 | 4. 路面が海面と同じ高さになるよう平坦に造成され、避難者が迅速に移動できること。 |
|---|--|---|---|

問4 自治体が作成するハザードマップにおいて、地形図上で等高線の間隔が非常に密になっている山地周辺が危険区域に指定されている場合、特に警戒すべき自然災害とその理由の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 土砂災害：等高線の間隔が狭い場所は急傾斜地であり、大雨などで地盤が緩みやすいため。 | 2. 洪水：等高線の間隔が狭い場所は標高が低く、河川の水が溢れやすいため。 | 3. 火山の噴火：等高線の間隔が狭い場所は必ず活火山が存在し、溶岩が流出しやすいため。 | 4. 津波：等高線の間隔が狭い場所は海岸に近く、大きな波が押し寄せやすいため。 |
|--|---------------------------------------|---|---|

問5 台風による自然災害の一つである「高潮」が発生するメカニズムについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 地震の揺れによって地下の砂の粒子がバラバラになり、地下水と共に地上へ噴き出すことで地盤が軟弱になること | 2. 中心気圧が低くなることで海面を押し下げる空気が軽くなり海面が持ち上がることで、強風で海水が陸側に押し流されること。 | 3. 大雨によって地中の水分量が増加し、傾斜地の土砂が粘り気を失って一気に斜面を流れ落ちること。 | 4. 海底で発生した地震によって海水が大きく揺れ動き、巨大な波となって沿岸部に繰り返し押し寄せること。 |
|--|--|--|---|

問6 本州の中央部に位置し、標高3000メートル級の山々が連なる飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈を合わせた総称として適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| 1. 奥羽山脈 | 2. 四国山脈 | 3. 日本アルプス | 4. 中国山脈 |
|---------|---------|-----------|---------|

問7 牧之原台地のように、標高が高く平坦な面を持つ地形で茶の栽培が盛んに行われている理由について、地形と気候の関連性から説明したものととして最も適切なものを選んでください。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 標高の高い平坦地は周囲より気温が極端に低くなるため、害虫が一切発生しない環境になるから | 2. 台地の斜面は土石流が発生しやすく、その際に入替った新しい土壌が茶の栽培に最も適しているから | 3. 標高が高い場所は常に霧が発生しており、日光を完全に遮断することから茶の葉の成長に不可欠だから | 4. 台地の上は水はけが良く、さらに傾斜地やその周辺では冷たい空気が停滞しにくいため、霜の被害を抑えられるから |
|--|--|---|---|

問8 降水量が少ない地域では、農業用水を確保するために「ため池」が多く作られます。瀬戸内地域の兵庫県や香川県では1万か所を超えるため池が存在しますが、北海道は年間の降水量が1400ミリ未満と少ない地域が多いにもかかわらず、ため池の数は1000か所未満と非常に少なくなっています。北海道において、降水量が少ないのになぜ「ため池」がそれほど必要とされないのか、その理由として適切なものを選びなさい。

(2017年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 梅雨や台風の影響を強く受ける地域であり、特定の季節に集中的な降雨があるため。 | 2. 冷涼な気候のため水分が蒸発しにくく、春には雪解け水を農業用水として利用できるため。 | 3. 石狩川などの大規模な河川から直接取水するための水路網が、開拓当初から完璧に整備されていたため。 | 4. 広大な土地を活用した大規模な畑作や酪農が中心であり、そもそも農業用水を必要としないため。 |
|---|--|--|---|

問9 東北地方の日本海側に位置する秋田市と、太平洋側に位置する仙台市の気候を比較したとき、それぞれの降水量の特色について述べた説明として正しいものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 秋田市と仙台市はともに日本海側の気候に属しており、どちらの都市も季節を問わず年間を通して一様に降水量が多い。 | 2. 秋田市は通年で降水量が少なく乾燥しているが、仙台市は黒潮（日本海流）の影響を受けて冬の降水量が非常に多い。 | 3. 秋田市は夏に太平洋側からの湿った空気が山脈を越えてくるため降水量が多くなり、仙台市は冬に日本海からの雪雲により降水量が多くなる。 | 4. 秋田市は冬に北西からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、仙台市は夏に季節風や梅雨、台風の影響で降水量が多くなる。 |
|---|--|---|---|

問10 日本の瀬戸内地方において、年間を通じて降水量が少なく、乾燥した晴天の日が多い理由として、地形と風の関係から説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 一年中、大陸から吹きつける偏西風が、中国山地を越える際に雨を降らせるため | 2. 夏は四国山地、冬は中国山地によって、湿り気を含んだ季節風が遮られるため | 3. 冬に北から吹く冷たい季節風が、日本海を渡る際に水分をすべて失ってしまうため | 4. 夏に小笠原高気圧から吹き出す貿易風が、四国山地を越えて乾いた風になるため |
|---|--|--|---|

問11 日本の気候区分において、冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、奥羽山脈などの山脈にぶつかすることで、日本海側に雪や雨の降水量が多くなる仕組みを説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. オホーツク海からの冷たく湿った北東の風が、直接日本海側の地域に吹き込み、冬の間中、曇りや雨の日を多くする。 | 2. 赤道付近からの暖かくて湿った季節風が、冬に勢力を強めて日本海を北上し、山脈に遮られることで積雪をもたらす。 | 3. ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。 | 4. 太平洋からの湿った空気が日本海に流れ込み、山脈を越える際に急激に冷却されることで大量の雪を降らせる。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヒートアイランド現象	都市部では地面の大部分がアスファルトやコンクリートで覆われているため、太陽の熱を吸収・蓄積しやすくなっています。さらに、自動車やエアコンなどから放出される人工排熱も多いため、郊外に比べて気温が高くなります。この温度分布が等温線図において島（アイランド）のような形を示すことから、この名称と呼ばれます。
問2	答え 3 夏は季節風の影響で晴天の日が多く、冬は北西の季節風によって雪や雨が多くなる。	日本海側の地域では、冬は湿った北西の季節風によって雪や雨が多くなりますが、逆に夏は太平洋側から吹き込む南東の季節風が中央の山脈を越えてくる際に水分を失うため、乾燥して晴天の日が多くなるという対照的な特徴を持っています。この季節ごとの対照的な天候は、日本の中央を走る山脈と季節風の向きによって生じます。
問3	答え 2 周囲の地盤よりも高い位置に土を積み上げた「盛り土」構造によって建設されていること。	高速道路が避難場所として機能するためには、物理的に「津波が到達しない高さ」にあることが不可欠です。多くの高速道路では、盛り土によって周囲の土地よりも数メートルから十メートル程度高い位置に路面が作られています。この構造上の特徴があることで、津波による浸水が発生した際にも、住民が階段などを通じて道路上に逃げることで一時的に安全を確保することが可能になります。
問4	答え 1 土砂災害：等高線の間隔が狭い場所は急傾斜地であり、大雨などで地盤が緩みやすいため。	地形図で等高線が密に描かれている場所は、傾斜が急な地形であることを表しています。傾斜が急な山地周辺では、大雨や地震の際にがけ崩れや地すべりなどの危険性が高いため、警戒区域に指定されます。
問5	答え 2 中心気圧が低くなることで海面を押し下げる空気が軽くなり海面が持ち上がることで、強風で海水が陸側に押し流されること。	高潮の主な要因は、気圧低下による「吸い上げ効果」と、強風による「吹き寄せ効果」の2点に集約されます。台風の中心付近では気圧が非常に低いため、周辺よりも海面を抑えつける力が弱まり、結果として海面が上昇します。これに加えて、台風の猛烈な風が海水を海岸付近に溜め込むように吹きつけることで、さらなる海面上昇を招き、沿岸の低地に浸水被害をもたらします。
問6	答え 3 日本アルプス	飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つは、その険しさから「日本の屋根」とも呼ばれます。明治時代にイギリス人技師のガウランドが名付け、小島烏水らによって広められました。これらは本州の中央部で南北に連なり、日本の地形の骨格をなしています。
問7	答え 4 台地の上は水はけが良く、さらに傾斜地やその周辺では冷たい空気が停滞しにくいため、霜の被害を抑えられるから	茶の栽培には「水はけの良さ」が重要であり、台地はその条件を満たしています。また、春先に新芽が霜（しも）の被害に遭うと品質が落ちますが、牧之原のような台地や傾斜地では、冷え切った重い空気が低い場所へと流れ落ちる「冷気湖」現象が起きにくく、霜の被害を比較的受けにくいという利点があります。地形図から等高線の間隔や標高を読み取ることで、こうした土地利用の理由を推察することができます。
問8	答え 2 冷涼な気候のため水分が蒸発しにくく、春には雪解け水を農業用水として利用できるため。	瀬戸内地域では夏の降水量が少なく乾燥するため、古くから多くのため池が作られてきました。一方、北海道も降水量自体は少ないものの、気温が低いため地面や植物からの水分の蒸発が抑えられます。さらに、冬の間にも積もった雪が春に溶け出す「融雪水」が豊かな水源となるため、瀬戸内のような大量のため池を設置する必要性が低かったという背景があります。
問9	答え 4 秋田市は冬に北西からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、仙台市は夏に季節風や梅雨、台風の影響で降水量が多くなる。	日本海側に位置する秋田市は、冬に湿った北西の季節風が奥羽山脈に突き当たることで、雪や雨などの降水量が多くなる「日本海側の気候」の特色を持ちます。一方、太平洋側に位置する仙台市は、夏に南東の季節風や梅雨、台風の影響で降水量が多くなる一方で、冬は奥羽山脈によって季節風の湿気が遮られるため、乾燥した晴天の日が多くなる「太平洋側の気候」の特色を持っています。
問10	答え 2 夏は四国山地、冬は中国山地によって、湿り気を含んだ季節風が遮られるため	季節風は高い山地を越える際、風上の斜面で雨や雪を降らせるため、山を越えた後には乾燥した空気となります。瀬戸内地方は北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれているため、夏と冬どちらの季節風も山地によって湿り気が遮られ、降水量が少なく乾燥した気候になります。
問11	答え 3 ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。	冬になるとユーラシア大陸から冷たく乾いた北西の季節風が吹き出します。この風が日本海を通過する際、対馬海流などの影響で蒸発した水分を大量に含み、湿った空気へと変化します。この空気が奥羽山脈などの高い山々にぶつかって上昇することで、雲が発達し、日本海側に世界でも有数の豪雪をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥し、太平洋側では晴天の日が多くなります。

- 問1 災害発生時に備えてマンホールトイレを地域に整備しておく技術的な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 下水道管を通さずに近くの河川へ直接排泄物を流す構造になっているため、水を使わずに処理できるから。 | 2. 下水道本管の上に直接設置する構造のため、停電や断水が発生した場合でも仮設トイレとして迅速に機能させることができるから。 | 3. 電気や水道を大量に消費するものの、通常のトイレよりも一度に多くの処理を行うことができるから。 | 4. 平時においては観光施設として利用でき、災害時には特別な資材を使わずに自動で組み立てられるから。 |
|---|--|---|--|
- 問2 冬の時期に日本海側で多くの雪が降るメカニズムについて、その背景と原因を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 太平洋から吹く湿った南東の季節風が、奥羽山脈を越えて日本海側に流れ込む際に、急激に冷やされて雪を降らせる。 | 2. 日本海を流れる寒流の対馬海流の影響で、シベリアから来る乾燥した風が冷やされ、平野部を中心に雪を降らせる。 | 3. 大陸から吹く冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。 | 4. 赤道付近から北上する暖かく湿った空気が、冬のシベリア高気圧とぶつかることで停滞前線が形成され、雪を降らせる。 |
|--|---|---|---|
- 問3 九州地方の周辺を流れる海流について、太平洋側を北上する強い流れの暖流と、九州の西側から東シナ海を通り、日本海側へと流れていく暖流の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 1. 日本海流（黒潮）とリマン海流 | 2. 千島海流（親潮）と対馬海流 | 3. 日本海流（黒潮）と対馬海流 | 4. 千島海流（親潮）とリマン海流 |
|-------------------|------------------|------------------|-------------------|
- 問4 火山の防災計画において、地形図の等高線から溶岩流が通過しやすい場所を予測する方法として正しいものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 等高線の間隔が最も広がっており、周囲の土地より高くなっている平坦な尾根状の場所を特定する。 | 2. 等高線が海岸線に向かって凸状に張り出し、周囲の土地より高くなっている場所を特定する。 | 3. 等高線が密に重なり合っており、傾斜が急で周囲の土地より高くなっている絶壁の場所を特定する。 | 4. 等高線が山頂側に向かってV字状に曲がり、周囲の土地より低くなっている谷状の場所を特定する。 |
|--|---|--|--|
- 問5 日本の気候区分について、東北地方の太平洋側に位置する都市と、四国地方の瀬戸内沿岸に位置する都市の降水量の特徴を比較した説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 太平洋側の都市は夏に南東からの季節風の影響で降水量が非常に多くなり年降水量が約2000mmに達するが、瀬戸内の都市は年間を通じて降水量が少なく1200mmを下回る。 | 2. 太平洋側の都市と瀬戸内の都市は、ともに標高の高い山々に囲まれた盆地特有の気候を示し、年間を通じて降水量が非常に少ない。 | 3. 太平洋側の都市は冬に北西からの季節風の影響で雪や雨が多くなるが、瀬戸内の都市は一年を通して温暖で、夏に最も降水量が多くなる。 | 4. 太平洋側の都市は冬に乾燥する一方で年間の降水量は1200mm程度にとどまるが、瀬戸内の都市は夏に降水量が集中するため年降水量が2000mmを超える。 |
|---|--|---|---|
- 問6 三重県の志摩半島周辺のように、多数の小さな入り江と岬が連続し、海岸線が非常に複雑になっている地形の成り立ちと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 起伏の激しい山地の谷に海水が入り込んで形成され、波が穏やかな入り江を利用した養殖業などが盛んである。 | 2. 海岸沿いで強い風によって砂が積み上げられて形成され、農業には適さないが観光地として利用される。 | 3. 川が運んできた土砂が河口付近に堆積して形成され、水田として利用されることが多い平坦な土地である。 | 4. 川が山地から平地へ流れ出す場所に土砂が堆積して形成され、水はけが良いため果樹園などに利用される。 |
|---|--|---|---|
- 問7 三陸海岸南部のように、山地が沈水して複雑な海岸線を持つ地形について、その成り立ちと利用に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 海岸沿いに砂が堆積して形成された単調な地形で、大規模な港湾の整備には適していない。 | 2. 山地が沈水して水深の深い入り江が形成されるため、波が静かで養殖業や良港に適している。 | 3. 河口付近に土砂が堆積してできた平坦な地形で、水はけが悪いため主に水田として利用される。 | 4. 海沿いの浅瀬を堤防で仕切り、排水して陸地にしたもので、大規模な農地として利用される。 |
|--|---|--|---|
- 問8 日本の気候区分のうち、冬の12月や1月の降水量が200ミリを超えてピークを迎え、夏季よりも冬季の降水量が多いという特徴を持つ地域の名称として適切なものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|
| 1. 中央高地の気候 | 2. 瀬戸内の気候 | 3. 日本海側の気候 | 4. 太平洋側の気候 |
|------------|-----------|------------|------------|
- 問9 日本の気候区分において、冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、奥羽山脈などの山脈にぶつかることで、日本海側に雪や雨の降水量が多くなる仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 太平洋からの湿った空気が日本海に流れ込み、山脈を越える際に急激に冷却されることで大量の雪を降らせる。 | 2. ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。 | 3. オホーツク海からの冷たく湿った北東の風が、直接日本海側の地域に吹き込み、冬の間中、曇りや雨の日を多くする。 | 4. 赤道付近からの暖かくて湿った季節風が、冬に勢力を強めて日本海を北上し、山脈に遮られることで積雪をもたらす。 |
|---|---|--|--|
- 問10 ある地域の地形図から読み取った以下の4つの地点のうち、防災上の観点から「避難場所」として最も適切であると判断できる場所はどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. 大きな河川のすぐ近くに位置し、標高が5m程度しかない平坦な地点 | 2. 海岸に近く、かつての湿地を埋め立てて作られた標高2m以下の平坦な地点 | 3. 標高が40mあり、周囲に急な傾斜地が存在しない大きな河川から離れた高台の地点 | 4. 等高線が非常に密集している山間部の、急激な斜面に隣接した標高20mの地点 |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
- 問11 リアス海岸の地形的特徴が、その地域の産業や防災に与える影響について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 海岸付近まで山地が迫り平地が少ないため、大規模な稲作や工業団地の形成が容易である。 | 2. 湾の入り口が広く奥が浅い形状をしているため、津波が発生した際にも波の高さが増幅される心配はない。 | 3. 複雑に入り組んだ奥深い湾は波が静かになりやすく、真珠や魚類の養殖に適している。 | 4. 直線的で遠浅な海岸線が続くため、海水浴場としての観光開発や砂浜の保護が重要となる。 |
|--|---|--|--|
- 問12 山地が海に迫り、平地の少ない地域において、山を削って大規模な住宅地（ニュータウン）を造成し、そこで発生した大量の土砂を沿岸部へ運んで海面を埋め立てる開発手法について、その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 古い市街地の建物を高層化する再開発において、地盤を固めるための土砂を確保するため | 2. 限られた土地を有効活用し、居住空間の確保と港湾・工業用地の拡張を同時に進めるため | 3. 削った山にダムを建設して水害を防ぎ、埋め立てた土地をすべて農地に変えるため | 4. 干拓によって海面下となった土地を、山から削り出した土砂で元の高さに戻すため |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 下水道本管の上に直接設置する構造のため、停電や断水が発生した場合でも仮設トイレとして迅速に機能させることができるから。	マンホールトイレは下水道本管に直接連結する構造を持っているため、災害によって電気や水道などのインフラが停止しても、簡易テント等を設置することで迅速にトイレ機能を確保できます。
問2	答え 3 大陸から吹く冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。	冬になるとユーラシア大陸のシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風は本来乾燥していますが、比較的暖かい日本海の上を渡る際、海面から蒸発した水蒸気を大量に含みます。この湿った空気が日本列島の中央にある山脈にぶつかって上昇し、雪雲が発達することで日本海側に多くの降雪をもたらします。山を越えた後の風は乾燥し、太平洋側に晴天をもたらす要因となります。
問3	答え 3 日本海流（黒潮）と対馬海流	九州地方の周辺には、低緯度側から暖かい海水を運ぶ二つの主要な暖流が流れています。太平洋側を北上する海流は日本海流（黒潮）と呼ばれます。一方、九州の西側で日本海流から分岐し、対馬海峡を通して日本海側へと流れ込む海流が対馬海流です。これらはいずれも暖流であるため、周辺地域の気温を高く保つ役割を果たしています。
問4	答え 4 等高線が山頂側に向かってV字状に曲がり、周囲の土地より低くなっている谷状の場所を特定する。	溶岩流の被害予測（ハザードマップ）を作成する際、地形の判読は不可欠です。等高線が標高の高い方へと曲がっている箇所は、周囲よりも土地が低い「谷」であることを示しています。溶岩流は地形の低い部分に集まりながら流下する特性があるため、こうした場所が危険な流路になると判断されます。逆に、等高線が低い方へ張り出している「尾根」は周囲より高いため、溶岩流は避けて流れる傾向があります。
問5	答え 1 太平洋側の都市は夏に南東からの季節風の影響で降水量が非常に多くなり年降水量が約2000mmに達するが、瀬戸内の都市は年間を通じて降水量が少なく1200mmを下回る。	太平洋側の気候は、夏に南東から吹く湿った季節風の影響を強く受けるため、夏から秋にかけて降水量が非常に多くなり、年降水量は2000mm前後まで達します。対して瀬戸内の気候は、北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気が遮られるため、年間を通じて降水量が1200mm以下と非常に少なく、晴天の日が多いのが特徴です。
問6	答え 1 起伏の激しい山地の谷に海水が入り込んで形成され、波が穏やかな入り江を利用した養殖業などが盛んである。	この地形はリアス海岸と呼ばれます。奥行きのある入り江は外海の影響を受けにくく波が静かなため、志摩半島では真珠、三陸海岸ではカキやワカメなどの養殖業が発展しました。選択肢にある他の説明は、順に三角州、扇状地、砂丘のものです。
問7	答え 2 山地が沈水して水深の深い入り江が形成されるため、波が静かで養殖業や良港に適している。	リアス海岸は、複雑に入り組んだ地形の影響で外海の波が入り江の奥まで届きにくく、波が穏やかになります。また水深も深いため、カキやワカメなどの養殖業や、大型船が停泊できる天然の良港として活用されてきました。一方で、津波が発生した際には入り江の奥で波が高くなりやすいという防災上の課題もあります。
問8	答え 3 日本海側の気候	冬に降水量（降雪量）が多くなるのは、シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海を渡る際に暖流の対馬海流から水蒸気を蓄え、日本の背骨にあたる山脈にぶつかって上昇気流を発生させるためです。これにより、日本海側の地域では冬に雪や雨が多くなり、山を越えた太平洋側では乾燥した晴天が続くという対照的な天候が見られます。
問9	答え 2 ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。	冬になるとユーラシア大陸から冷たく乾いた北西の季節風が吹き出します。この風が日本海を通過する際、対馬海流などの影響で蒸発した水分を大量に含み、湿った空気へと変化します。この空気が奥羽山脈などの高い山々にぶつかって上昇することで、雲が発達し、日本海側に世界でも有数の豪雪をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥し、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問10	答え 3 標高が40mあり、周囲に急な傾斜地が存在しない大きな河川から離れた高台の地点	地形図から避難場所を選定する場合、浸水と土砂崩れの両方の危険性を排除しなければなりません。標高が低い地点や埋立地は、洪水や高潮による浸水のリスクが非常に高く、等高線が密集している場所の近くは土砂災害の危険があります。したがって、河川から離れて十分な標高を確保しつつ、かつ地形が安定している高台を選択することが、避難場所としての安全性を高めることにつながります。
問11	答え 3 複雑に入り組んだ奥深い湾は波が静かになりやすく、真珠や魚類の養殖に適している。	リアス海岸は、山地が海に接しているため平地が少ないという制約がありますが、複雑な入江は外海の影響を受けにくいため、養殖業に非常に適しています。しかし、そのV字型の湾の形状は、津波が襲来した際にエネルギーが集中し、波高が急激に高くなる危険性があるという防災上の課題も抱えています。
問12	答え 2 限られた土地を有効活用し、居住空間の確保と港湾・工業用地の拡張を同時に進めるため	山地造成と海面埋め立ては、平地が極端に少ない地域において、山を削ることで「ニュータウン」という住宅地を生み出し、その土砂を海に運ぶことで「人工島」という産業・物流の拠点を生み出す、一石二鳥の合理的な開発手法です。兵庫県神戸市などの事例が有名です。

- 問1 大分県別府市の境川河口付近において、昭和五十年代と平成二十五年の二枚の二万五千分の一地形図を比較した際に読み取ることができる、都市開発に伴う人工的な景観の変化として正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 自然環境を復元するために、既存の橋を撤去して河口を昭和以前の形状に戻した
2. 食料不足を解消するために、沿岸部の埋め立て地に広大な田畑が作られた
3. 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された
4. 防災機能を強化するため、河口付近の住宅地を撤去して警察署や消防署が設置された
- 問2 新潟県から静岡県付近を縦に貫き、日本列島を地質的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形において、その西側の境界線となっている断層帯の名称を答えなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 糸魚川静岡構造線
2. 中央構造線
3. 柏崎千葉構造線
4. 棚倉構造線
- 問3 静岡県などに見られる太平洋側の気候において、雨温図上で夏の降水量が多くなる主な要因は何ですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 夏に南東から吹く湿った季節風の影響
2. シベリア高気圧から吹き出す冷たい風の影響
3. 冬に北西から吹く湿った季節風の影響
4. 年間を通じて吹く強い偏西風の影響
- 問4 日本列島の地形の特徴を説明した文章において、日本アルプスの東側に位置し、日本列島を地質学的に東日本と西日本に分ける南北方向の巨大な断層帯を何と呼びますか。なお、この断層帯は「大地溝帯」とも訳されます。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 日本海溝
2. フォッサマグナ
3. 火山フロント
4. 中央構造線
- 問5 北海道の東方から東北地方の太平洋側に沿って南下する、栄養分を豊富に含んだ寒流の名称として最も適切なものを選択してください。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 親潮（千島海流）
2. 対馬海流
3. 黒潮（日本海流）
4. リマン海流
- 問6 屋久島や小笠原諸島の近海を通り、日本の南岸から太平洋側に沿って北上する海流があります。この海流は、塩分濃度が高く透明度が高いという特徴を持っており、別名を「日本海流」とも呼びます。この暖流の名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 対馬海流
2. リマン海流
3. 親潮
4. 黒潮
- 問7 日本海側の気候がみられる地域において、年間の降水量や日照時間の推移を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 梅雨や台風の影響を強く受ける夏から秋にかけて降水量が集中し、冬は乾燥して晴天の日が続く。
2. 冬に北東から吹く「やませ」の影響で冷害が起こりやすく、夏になっても日照時間が全く増えない。
3. 一年を通じて降水量が少なく、特に夏は瀬戸内海沿岸のように極端に日照時間が長くなる。
4. 冬は北西の季節風の影響で降雪量が多くなり降水量が増えるが、夏は晴天の日が多く日照時間が長くなる。
- 問8 関東地方の河川に関する統計において、流域面積が約16,840平方キロメートルと日本で最大であり、群馬県を源流として千葉県北部などの下流域を経て太平洋に注ぐ河川の名称として最も適切なものを、次の中から選びなさい。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 利根川
2. 荒川
3. 信濃川
4. 石狩川
- 問9 日本の気候に適応した人々の生活の工夫について、山形県に見られる「階段が設置され床面が高くなっている電話ボックス」の説明として、地域の自然環境と関連付けて述べたものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である
2. 台風の通り道となる地域において、高潮による冠水から施設を守るための工夫である
3. 季節風が強い地域において、風による建物の転倒を防止するための工夫である
4. 火山灰が降り積もる地域において、灰が室内に侵入するのを防ぐための工夫である
- 問10 栃木県内を南北に流れる渡良瀬川や鬼怒川は、関東平野を流れるある大規模な河川に合流する支流です。これらの支流を含み、広大な流域を形成して地域の農業に大きく貢献している河川水系の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 利根川水系
2. 最上川水系
3. 筑後川水系
4. 信濃川水系
- 問11 東京23区における7月下旬から9月末までの「熱帯夜の日数」を調査した統計において、都心部に近づくほど日数が多くなり、周辺の郊外に比べて気温の高い地域が島状に分布していることが示されました。このように、都市化の影響によって都市部の気温が郊外よりも高くなる現象を何といいますか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. エルニーニョ現象
2. ヒートアイランド現象
3. 地球温暖化
4. 砂漠化
- 問12 小笠原諸島の自然環境と、そこでの人々の生活や地理的条件について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. 落葉広葉樹であるブナの林が島全体を覆っており、秋には紅葉を楽しむ観光客が多く訪れる。
2. 大陸と地続きであった時代に渡ってきた大型の哺乳類が、現在も野生状態で数多く生息している。
3. 気候は一年を通じて温暖な亜熱帯に属しており、独自の進化を遂げた動植物を保護するための取り組みが行われている。
4. 東京都に属しているが、緯度が非常に高いため、冬には流水が接岸するなどの寒冷な気候が特徴である。
- 問13 近年、都市部では集中豪雨の際に下水管内の空気が圧縮され、マンホールから水が噴き出す「都市型洪水」が課題となっています。この対策として、京都市などで導入されている「雨庭（あめにわ）」の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。
2. 下水管の中にフィルターを設置し、雨水に含まれるゴミを取り除いてから川へ流す速度を速める。
3. 住宅地の景観を整えるための装飾として、雨水を好む植物を植えることで都市の気温上昇を抑える。
4. 雨水をすべて地下の巨大なタンクに密閉し、災害時の生活用水として利用するために貯蔵する。
- 問14 ある地域の地形図を確認したところ、大きな建物のすぐ背後に山があり、その斜面にあたる部分の等高線の間隔が非常に狭くなっていました。この地形図から推測される実際の風景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 建物が山の頂上付近にある、平坦な場所に建てられている風景
2. 建物の後ろに、なだらかで緩やかな斜面が遠くまで続いている風景
3. 建物の周囲が等しい高さの土地に囲まれた、広い盆地のような風景
4. 建物のすぐ後ろに、険しく急な斜面がそびえ立っている風景

答え合わせ・解説

問1	答え 3 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された	都市の発展に伴い、限られた平地を拡張するために沿岸部の埋め立てが行われることがあります。大分県別府市の事例では、昭和五十年代には自然な形状で海に開かれていた河口が、平成二十五年までには直線的に埋め立てられ、さらにその海上に新しい橋が建設されるなど、交通網の整備と土地利用の高度化が同時に進んだことを地形図から読み取ることができます。
問2	答え 1 糸魚川静岡構造線	フォッサマグナの西端を画する大断層線です。この線を境に東側と西側では地層の年代や性質が大きく異なっており、日本列島の形成過程を示す重要な地形的特徴として知られています。
問3	答え 1 夏に南東から吹く湿った季節風の影響	太平洋側では、夏に小笠原気圧（太平洋高気圧）から南東の湿った季節風が吹き込むため、梅雨や台風の影響と重なって夏から秋にかけての降水量が多くなります。一方、冬は山を越えた乾燥した風が吹くため、晴天の日が多く降水量は少なくなります。
問4	答え 2 フォッサマグナ	日本列島の形成過程において生じた巨大な溝のような地帯であり、ラテン語で「大きな溝」を意味します。西端は糸魚川・静岡構造線という断層で区切られており、地質学的な東日本と西日本の境界線としての役割を果たしています。よく混同される中央構造線は、西日本を北側の領家帯と南側の三波川帯に分ける、東西方向に走る断層であるため区別が必要です。
問5	答え 1 親潮（千島海流）	北の千島列島方面から流れてくるこの海流は、魚の餌となるプランクトンなどの栄養分を豊富に含んでいることから「魚を育てる親となる潮」という意味で親潮と呼ばれます。また、その起点から千島海流という別名も持ちます。これに対し、南から来る暖流である黒潮は、栄養分が少なく透明度が高いため、色が黒く見えることからその名がついています。
問6	答え 4 黒潮	日本の太平洋側を流れるこの暖流は、赤道付近からの暖かい海水を運んでくるため、周辺の気温を高く保つ役割を果たしています。プランクトンが少なく透明度が高いために、海の色が深く青黒く見えることからその名がつけられました。千島海流（親潮）とぶつかる東北地方の沖合では、潮目（潮境）を形成し、良質な漁場となります。
問7	答え 4 冬は北西の季節風の影響で降雪量が多くなり降水量が増えるが、夏は晴天の日が多く日照時間が長くなる。	日本海側の気候の最大の特徴は、冬の降水量（雪）の多さです。大陸からの冷たく湿った北西の季節風が奥羽山脈や越後山脈などにぶつかり、大量の雪を降らせます。しかし、夏になると太平洋側の気候と同様に晴天に恵まれる日が多く、農業（特に稲作）に適した長い日照時間が得られます。これに対し、太平洋側は夏に雨が多く冬に乾燥して晴天が続くという逆のパターンを示します。
問8	答え 1 利根川	群馬県の大水上山を源流とし、関東平野を横断して千葉県と茨城県の境から太平洋に注ぐ利根川は、日本最大の流域面積を誇る河川です。選択肢にある信濃川は日本で最も長い河川（長さ1位）ですが、流域面積では利根川が1位となります。また、荒川は利根川の西側を流れる河川であり、石狩川は北海道を流れる日本第2位の流域面積を持つ河川です。
問9	答え 1 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である	山形県などの積雪地域では、一晩で数十センチメートル以上の雪が積もることがあります。このような環境下で公共施設を維持するためには、雪が積もることを前提とした設計が必要です。床面を高くする工夫は、除雪が追いつかない状況でも施設としての機能を維持するための、積雪地域特有の知恵と言えます。
問10	答え 1 利根川水系	栃木県を流れる渡良瀬川や鬼怒川は、利根川の本流に合流する重要な支流です。このように本流と支流を合わせた河川の集まりを「水系」と呼びます。利根川水系は日本最大の流域面積を誇り、関東地方の広範囲にわたって農業用水などを供給する役割を担っています。
問11	答え 2 ヒートアイランド現象	都市部では道路のアスファルトや建物のコンクリートが太陽熱を蓄えやすく、さらに自動車やエアコンなどから放出される人工排熱が多いため、周辺の郊外に比べて気温が下がりにくなります。気温の高い地域が地図上で島のように見えることからこの名がつきました。地球全体の気温が上がる地球温暖化とは、発生のメカニズムや規模が異なるため区別が必要です。
問12	答え 3 気候は一年を通じて温暖な亜熱帯に属しており、独自の進化を遂げた動植物を保護するための取り組みが行われている。	小笠原諸島は北緯27度付近に位置し、気候区分では亜熱帯に属します。海洋島という特性から大型の哺乳類は本来存在せず、カタツムリの仲間や植物などに多くの固有種が見られます。落葉広葉樹（ブナ）は東北地方などの冷温帯に見られるものであり、流水は北海道のオホーツク海沿岸で見られる現象です。
問13	答え 1 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。	都市部では地面の多くがアスファルトで覆われているため、雨水が地中に浸透せず一気に下水道へ流れ込みます。雨庭は、植物や土壌を利用して雨水を一時的に貯め（貯留）、ゆっくりと地面に染み込ませる（浸透）機能を持っています。これにより、下水管に急激な負担がかかるのを防ぎ、マンホールの噴出や浸水被害を抑制する役割を果たしています。
問14	答え 4 建物のすぐ後ろに、険しく急な斜面がそびえ立っている風景	地形図上の等高線の間隔は、その土地の傾斜の度合いを反映しています。建物の背後の山において「等高線の間隔が非常に狭い」という情報は、その場所の傾斜が急であることを示しています。したがって、実際の風景としては、建物のすぐ裏手に急峻な崖や険しい斜面が存在している状況が読み取れます。

- 問1 太平洋側の気候が見られる地域において、冬季に晴天の日が多くなり、空気が乾燥するメカニズムを説明したものととして、正しいものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 南東からの季節風が太平洋上で水分を失い、乾燥した状態で日本列島を横断して太平洋側に到達するため。 | 2. 北西からの湿った季節風が、日本の脊梁山脈を越える際に日本海側に雪を降らせ、太平洋側には乾燥した風となって吹き下ろすため。 | 3. 寒流である千島海流の影響により、太平洋沿岸の海水温が下がり、空気中の水蒸気が凝結して海上で霧となって消えるため。 | 4. 冬の時期は太平洋高気圧の勢力が強まり、日本列島全体が下降気流に包まれることで雲の発生が抑えられるため。 |
|---|---|---|--|
- 問2 兵庫県の姫路市などに代表される「瀬戸内の気候」は、夏と冬の降水量が比較的少なく、年間を通じて温暖で晴天が多いことが特徴です。この気候において、夏と冬の両方で降水量が少なくなる理由として正しいものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|----------------------------------|--|--|
| 1. 赤道付近から移動してくる高気圧が、一年を通じてこの地域を覆い続けるため。 | 2. 寒流の影響により海水温が低く、上昇気流が発生しにくいから。 | 3. 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気を遮るため。 | 4. 内海である瀬戸内海では水蒸気の蒸発量が極端に少なく、雲が形成されないため。 |
|---|----------------------------------|--|--|
- 問3 高度経済成長期以降、都市部での人口増加に対応するために、郊外の丘陵地などを大規模に造成して建設された、多摩（東京都）や千里（大阪府）に代表される計画的な住宅地の呼称として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|------------|-------------|
| 1. 工業団地 | 2. ニュータウン | 3. スマートシティ | 4. ポートアイランド |
|---------|-----------|------------|-------------|
- 問4 東北地方の三陸海岸南部や三重県の志摩半島などに見られる、海岸線が激しく凹凸を描き、岬と湾が複雑に入り組んだ「のこぎりの歯」のような形状の海岸地形を何と呼びますか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|----------|
| 1. 砂浜海岸 | 2. 三角州 | 3. 干拓地 | 4. リアス海岸 |
|---------|--------|--------|----------|
- 問5 日本の伝統的な文化において、十一月に行われる年中行事のうち、三歳、五歳、七歳の節目を迎えた子供の成長を祝い、これまでの無事な成長に感謝するために行われる行事として正しい名称を選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|---------|
| 1. 七五三 | 2. 灌仏会 | 3. 端午の節句 | 4. ひな祭り |
|--------|--------|----------|---------|
- 問6 二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度が高まることで、地球全体の平均気温が上昇する現象を何といいますか。佐賀県などの各自治体で進められている電気自動車（EV）の普及促進は、この現象への対策の一環として行われています。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|------------|--------|
| 1. 地球温暖化 | 2. 森林破壊 | 3. オゾン層の破壊 | 4. 酸性雨 |
|----------|---------|------------|--------|
- 問7 ある統計資料において、都市Aは1月の平均気温がマイナス0.6度と低く、冬の降水量が非常に多いという特徴があります。一方で都市Bは、1月の降水量が38.2mm、7月が144.1mmと全体的に降水量が少ない数値を示しています。これらのデータから推測される都市Aと都市Bの組み合わせとして、正しいものを選んでください。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 都市A：中央高地に位置する都市、都市B：太平洋に面した温暖な都市 | 2. 都市A：瀬戸内海に面した都市、都市B：東北地方の日本海側の都市 | 3. 都市A：東北地方の日本海側の都市、都市B：瀬戸内海に面した都市 | 4. 都市A：太平洋に面した温暖な都市、都市B：中央高地に位置する都市 |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問8 山地から平地へと広がる扇状地の統計や地形を示した資料において、高速道路が標高の等しい地点を結んだ線に沿って、緩やかな弧を描くように建設されている様子が見て取れます。このように、等高線に沿うように道路が配置される主な理由は何ですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 川の流れに対して常に垂直に交差するように設計することで、橋の建設距離を最短にする必要があるから。 | 2. 車両の走行負荷や燃料消費を抑えるため、急激な上り坂や下り坂を避け、極力一定の高度を保つように設計するから。 | 3. 扇状地の扇端部分にある集落を避け、用地買収が容易な山裾の未開発地を優先的に通過させるため。 | 4. 土砂崩れが発生した際に、道路が防波堤の役割を果たして山側からの土砂をせき止めるようにするため。 |
|---|--|--|--|
- 問9 災害時の安全な避難を支援するために、スマートフォンの機能を活用した取り組みが進められています。情報の収集・発信、人工衛星からの電波を用いた位置情報（GPS）による現在地の表示、および避難経路の誘導という3つの機能を組み合わせたシステムが果たす役割として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 刻々と変化する災害状況や現在地の危険度を把握し、状況に応じた最適な避難行動を支援する。 | 2. 災害が発生した後に、被災した建物の損壊状況を人工衛星からの画像のみで遠隔地から判定し、復興計画を立てる。 | 3. ラジオ放送から得られる音声情報を記録し、自治体が発表する避難勧告の履歴を文字データとして保存する。 | 4. あらかじめ配布された紙のハザードマップをデジタル化し、避難所に到着した後の食料配分の手順を確認する。 |
|--|---|--|---|
- 問10 ある自治体において、土砂災害時の避難所を検討しています。北側に急峻な山地が迫り等高線が密集している地点Aと、山地から離れた平坦な市街地に位置する地点Bを比較したとき、地点Aが避難所として不適切とされる理由を、地形の観点から説明したものととして適切なものを選びなさい。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 等高線の密度から判断して、背後の山地で崖崩れや土砂災害が発生し、巻き込まれる危険があるため。 | 2. 市街地から離れた場所は建物の密度が低いため、地震が発生した際の火災による延焼被害が大きくなるため。 | 3. 等高線が密集している場所は標高が低く、周辺の河川が氾濫した際に浸水被害を受ける可能性が高いため。 | 4. 山間部は平坦な土地に比べて地盤が柔らかく、地震の際に液状化現象が発生しやすいから。 |
|---|--|---|--|
- 問11 河川が山地から平地に流れ出る谷口付近において、流れが急に緩やかになることで運搬されてきた土砂が堆積し、扇のような形に広がって形成された地形を何といいますか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| 1. 三角州 | 2. 台地 | 3. 砂丘 | 4. 扇状地 |
|--------|-------|-------|--------|
- 問12 河川が山地の急斜面から緩やかな平野部へ流れ出るところでは、水の流れが急に遅くなるため、上流から運搬されてきた土砂が堆積します。このようにして形成される、谷の出口を頂点として半円状（おうぎ形）に広がった地形を何といいますか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|-------|
| 1. 三角州 | 2. 河岸段丘 | 3. 扇状地 | 4. 台地 |
|--------|---------|--------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 北西からの湿った季節風が、日本の脊梁山脈を越える際に日本海側に雪を降らせ、太平洋側には乾燥した風となって吹き下ろすため。	冬の日本付近では、シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が卓越します。この風が日本海を渡る際に水分を蓄えますが、奥羽山脈や中央アルプスなどの高い山脈を越える際に、日本海側に雪として水分を落としします。その結果、山を越えて太平洋側に吹く風は水分を失った「乾いた風」となり、晴天と乾燥をもたらします。
問2	答え 3 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気を遮るため。	瀬戸内の気候は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれていることが最大の特徴です。夏は太平洋側から吹く南東の季節風が四国山地に遮られ、冬は日本海側から吹く北西の季節風が中国山地に遮られます。それぞれの風が山地を越える際に水分を落とすため、中間に位置する瀬戸内地域は一年を通して降水量が少なく、乾燥した晴天の日が多くなります。
問3	答え 2 ニュータウン	大都市の過密化を防ぎ、良好な住環境を提供するために郊外に計画的に建設された大規模な住宅地区を「ニュータウン」と呼びます。これらは山や丘を平らにして建設されたため、地図上では自然の地形を示す等高線が消え、代わりに大規模な団地や整然とした道路網が描かれるのが特徴です。
問4	答え 4 リアス海岸	山地が沈降したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込んで形成された地形です。入り江（リア）が連続することからその名がつけました。日本では他にも福井県の若狭湾周辺などが代表例として知られています。
問5	答え 1 七五三	日本では古来、医療が未発達であった時代に子供が健康に育つことは非常に困難であったため、特定の年齢を節目としてその成長を祝う習慣が定着しました。十一月十五日前後に行われるこの行事は、地域の神社などに参拝し、子供の健やかな将来を祈願する代表的な年中行事の一つです。
問6	答え 1 地球温暖化	二酸化炭素やメタンなどの気体は、地表から放射される熱を吸収して大気を温める性質があり、これらを温室効果ガスと呼びます。人間活動によってこれらのガスの排出量が増え、地球の気温が上昇する現象は地球温暖化と呼ばれます。電気自動車は走行中に二酸化炭素を排出しないため、温暖化を抑えるための有効な手段となります。
問7	答え 3 都市A：東北地方の日本海側の都市、都市B：瀬戸内海に面した都市	日本海側の気候は、冬に北西の季節風の影響で雪や雨が多くなるのが最大の特徴です。特に北部の都市では1月の平均気温が氷点下になることも珍しくありません。対して、1月・7月ともに降水量が少なく、年間を通して雨が少ないデータを示すのは瀬戸内の気候の特徴です。これにより、都市Aを日本海側、都市Bを瀬戸内と判断できます。
問8	答え 2 車両の走行負荷や燃料消費を抑えるため、急激な上り坂や下り坂を避け、極力一定の高度を保つように設計するから。	高速道路や鉄道は、急な勾配があると走行性能や安全性が著しく低下します。そのため、等高線（同じ標高を結んだ線）に沿ってルートを確認することで、高低差の変化を最小限に抑え、スムーズな走行を可能にしています。地形図上で道路が等高線と並行に走っている場合、その道路が地形の起伏に逆らわず、効率的な高度維持を行っていることを意味します。
問9	答え 1 刻々と変化する災害状況や現在地の危険度を把握し、状況に応じた最適な避難行動を支援する。	デジタル化されたハザードマップは、従来の紙媒体とは異なり、スマートフォンの位置情報機能（GPS）と連動できる点が大きな特徴です。これにより、利用者が今どこにいて、その周辺にどのような危険（浸水や土砂崩れなど）が迫っているかをリアルタイムに把握できます。また、災害状況に応じて通行可能な道路を選択し、安全な避難経路を動的に提示することが可能になるため、迅速かつ的確な避難行動に結びつきます。
問10	答え 1 等高線の密度から判断して、背後の山地で崖崩れや土砂災害が発生し、巻き込まれる危険があるため。	地形図上で等高線が密集している場所は急傾斜地（崖や山地）を指します。土砂災害時の避難場所を検討する場合、その地点自体が平坦であっても、すぐ近くに急な斜面がある場所は、崖崩れなどの二次被害に遭う恐れがあるため避難所には適しません。一方で、山から離れた平坦な市街地は、土砂災害に関しては地点Aよりも相対的に安全と言えます。
問11	答え 4 扇状地	山地から平地へと地形が変化する地点では、河川の流速が落ちるため、それまで運ばれてきた土砂を支えきれなくなり、堆積が起こります。こうして形成された扇形の地形は扇状地と呼ばれます。これに対し、河口付近で流れがさらに緩やかになり、細かい泥などが堆積してできる地形は三角州であり、形成される場所の違いに注意が必要です。
問12	答え 3 扇状地	山間部を流れる急流が平地に出ると、川の勾配が緩やかになり、川幅も広がります。これにより、それまで土砂を運んでいた水の勢いが弱まり、運びきれなくなった砂や礫（小石）が山の出口付近に積み重なることで、特徴的な扇形の地形が作られます。